

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

第107回薬剤師国家試験の合格発表が3月24日となり、未来の薬剤師に関心が寄せられる中、経済誌・週刊ダイヤモンドで私立薬学部の「淘汰危険度ランキング」の記事が出ていました。入学定員充足率と卒業率、国家試験合格率の3つの指標からランク付けをしていました。

薬学部の入学定員が8,200人だった時代から大学が増加し続け、最近では定員が1万1,600人に達し、薬学部の門はととも広くなりました。大学経営者の視点から見ると、一度学生が入学すると6年間の授業料を納めてもらえるうえ、地域が活性化して医療への貢献もできるわけですから、薬学部は押さえておきたい学部でしょう。しかし、近年では人気学部から急落し、29大学が定員割れを起こすという状況になっています。

現在の薬学生はとにかく忙しいです。大学生生活を謳歌してしまうと、留年する可能性が非常に高まります。また、医療界ではコミュニケーション能力も大切ですが、そもそもコミュニケーション能力を磨くきっかけとなる、サークルやバイトなどの学外活動の時間が取れません。視野を拡げて社会性を学ぶ機会すら、新型コロナなどの影響で激減しています。

皆さんのもたに行く5年生の実習期間が、これらを磨く貴重な機会となっています。是非とも積極的に学生と関わり、皆で薬学生を育てていただけたらと思います。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子